

11月号



まちづくり通信



発行 飛騨高山まちづくり本舗
〒506-0845 高山市上二之町44-4
まちひとぷら座かんかこかん
電話&FAX 0577-33-5282
m-honpo@takayamashishouren.net

かんかこかんHPより、バックナンバーをご覧いただくことができます

今日を明日へ 未来へとつなぐ

変化するまちかど 商店街のNEW スポット

下二之町 「住」からまちづくりを考える

『飛騨高山 町家再生・住替え支援相談センター』が

江名子川、布引橋向かいに開設！



こちらで 気軽に
相談できます!!

持ち家から賃貸に住み替えたい

家をリフォームして
貸し出したいが方法は？

町家を買いたい、売りたい

定住を決める前にお試しに
短期間でも住んでみたい

まちの縁側の雰囲気町家暮らしを相談することができるセンターが10月にオープンしました。6年程前から町家活用、町家暮らしについて考えてきた市民有志が「飛騨高山 町家再生・住替え支援センター」(代表理事 下本一伸・NPO 法人申請予定)を設立、今年度の主な取り組みである①町家調査、②町家再生ワークショップ、③相談窓口設置、④町家住替え支援BOOK 作成の一環として、下二之町地内に相談センターを開設、運営にあたられています。今後、さまざまな事業を通じて、中心市街地に点在し始めた町家の空き家活用や住替え、こうした住居に居住等を希望される方との土壌づくりを推進していくものです。相談センターは、伝統的建造物群保存地区という場所柄、また建物自体も歴史的価値があることから、お休み処や観光案内機能としても期待されます。 詳細はHPでごらんください。 <http://hidamachiya.hida-ch.com/>

飛騨高山 町家再生・住替え支援相談センター (下二之町 28)月～金 8時半～5時半 電話&FAX12月頃～使用可 35-2676

本町3・四つ葉こみち 一般公募による共同店舗「**四つ葉**」(市商連運営)に
ニューフェイス登場

贈りたくなる おしゃれなお菓子 **nisico sweets**(ニシコスウィーツ)



店主の安江晶子(あきこ)さんは、帝国ホテル東京でパティシエの経験を積まれた後、学生時代に過ごした高山に五年前にUターン。贈答、ウェディング用のお菓子のインターネット販売をされていました。お菓子を実際に見ていただくことができればと、この10月に本町三丁目の四つ葉にスイーツの店をオープンされました。明るくハッピー感のあふれる店舗は、ふらりと寄り道のできる四つ葉こみちの入り口店舗として個性が光る商店街のスポットとして、まちかどに彩りを添えています。

商店街で、公園の中の噴水のようにいつもキラキラとそこにあり、日々、優しい気持ちで心潤うようなお店でありたいと、安江さん。

日替わりの旬のフルーツタルト他、バラの形と香りのケーキは、なんともロマンティック。笑顔のケーキは、ガリバー旅行記のこびとの国リリパットからネーミングされており、贈る人、贈られる人ともに笑顔を届けます。 **ニシコスウィーツ nisico sweets 34-8126**

13時～16時 火曜定休 2000円以上で駐車券進呈
HP・ブログ有り <http://nisico.net>

近日開店 12月初旬、「四つ葉」奥の「くにやす。」に変わり、新店舗として小さなレストランがOPENします。お楽しみに!!

国分寺通り あなたの輝きを応援するアートステージ
レストカフェ ギャラリー&ライブハウス**サンアート高山**



駅西と国分寺通りを結ぶアンダーパスの交差点南側に、イルミネーションあざやかな外観のカフェ。三年目のこの夏、店舗スペースを拡張し、新たなレストカフェ ギャラリー&ライブハウスとして再スタート。アートとの出会いをテーマに人が集う場となっています。専属バンドのブルトツパーズ(同店スタッフとお客さま有志で構成)が奏でるオールディーズの曲に誘われて、外国の方も楽しんで行かれます。

店の名には、他所にない魅力と可能性を高山のまちと人に見出した九州人のオーナーが、アートを楽しむごくふつうの人達に個展や演奏会ができる喜びを感じてもらえる場でありたいとの願いがこめられています。その願いを継いだのが鈴木店長と元気なスタッフ三名。国内外の観光客の皆様にも、あの時は楽しかったねと思い出してもらえるように努めることが、営業させていただく高山への恩返しになるのではと、日々奮闘されています。

作品展や演奏会、カップリングパーティーなど、催しは月に10回を越えます。こんなことがしてみたいという夢に向けて、ボン！と後押しをしてくれるようなスポットです。

サンアート高山 35-0536 9時半～21時半 不定休
駐車場有り ブログ <http://sunart.hida-ch.com/>

出店者募集 まちといっしょに ワクワクスペースを創出

本町3丁目の空き店舗で
マイショップの夢 叶えませんか!!

締切 11/30

高山チャレンジ・ザ・ショップ Dreamin

小さな夢も大きな夢も、あなたの夢は商店街から始まります。

市商連が実施したpod、四つ葉に続き、今回、本町三丁目商店街振興組合が主体となって、独立開業の夢を持つ方に、割安な家賃で共同店舗スペースを提供しようという「チャレンジ・ザ・ショップドリーミン事業」(空き家・空き店舗活用プロジェクト)です。(今回は二店舗予定)

場所は、本町三丁目の旧ヤマナカ帽子店の空き店舗。一、二階共に約10坪。二階は、和風、レトロなイメージがかもし出せるスペースです。教室や作品の展示販売、食品、衣料、雑貨販売などオリジナルのお店づくりの願いを叶えるチャンスです。

11月30日応募締切、一次(書類)、二次(面接)選考のうえ12月上旬に出店者決定、改装工事後、平成23年4月下旬開店予定。

詳細、応募要項は、所定の応募用紙(市商工課/商工会議所/かんかこかん/よって館(本4)/森下ガクブチ店に置いています。



高山市商連HPからもダウンロードできます。[高山市商連 検索](#)
問合せ先 32-1590(10時~18時)森下ガクブチ店内ドリーミン事務局

地域医療 第3回飛騨地域医療シンポジウム

「もしも、口から食べられなくなったら…そのとき、あなたは?」
~胃ろうについて考える~

地域医療をテーマにした朗読劇「ある日突然、家族が倒れたら」上演、芦花ホーム医師の石飛幸三さんによる基調講演「平穏死のすすめ」、地元医療関係者によるパネルディスカッションを通して、もしも…の場合を考えてみませんか!



◇11月27日(土) 12時半開場 13時~16時
◇高山市民文化会館 小ホール
◇主催 飛騨地域医療を考える会
問合せ 090-8861-0759 藤江さん

地域暮らし 宅老所普及啓発の実践紹介

「地域での暮らしを柔軟に支える宅老所の魅力! 教えます」

全国でデイケアのモデルとなった富山型デイサービスの創始者惣万佳代子さんによる基調講演「住み慣れた地域の中でだれもが安心して暮らす続けるために」にはじまり、小規模多機能ケア実践報告とパネルディスカッション。地元高山からは、ほのぼの朝日ネットワーク、りびんぐ、高山市社会福祉協議会が発表されます。

皆で、地域での暮らしの支え合いについて考えてみませんか!



◇11月27日(土) 12時半~16時半
◇飛騨・世界生活文化センター
◇主催 宅老所・グループホーム全国ネットワーク
問合せ 32-7283 りびんぐ 山下さん

住まい・住まい方 耐震・バリアフリー・省エネを考える

2010ひだ建築フェスタ「安心、安全、自然にやさしく」

11月28日、市庁舎は住まいや住まい方を考える一日となります。飛騨地区では初めて開催されるフェスタです。

- 将来の住宅新築・改修のヒントとなる機器、老人福祉住宅、エコ住宅、高山工業高校作成模型、補助制度等、22ブースの展示・相談コーナー
- かんな削り、箸づくり、泥だんごづくり、地震体験車など体験教室
- 実演(千鳥格子組み、かんな研ぎ)

◇11月28日(日) 9時~16時
◇高山市役所 市民ロビー 市民ホール他
◇主催 (社)岐阜県建築士事務所協会飛騨支部
問合せ 35-3159 高山市都市整備課



連載 高山市の子育て支援色々⑦

『経験を活かして地域の子育て応援団』



まちひとぶら座かんかこかんだけだったつどいの広場は、合併後各支所地域にも開設され11ヶ所になりました。

乳幼児親子を対象とした遊びと交流を目的としたつどいの広場において、特定の曜日と時間の中で、お母さんの話し相手や相談を受けたり、遊びの企画など独自のメニューでひろば運営に関わる子育てコーディネーターという大切な存在があります。これは、平成19年度に高山市が独自に始めたしくみで、一般公募制、今年度は現在42名の方が各拠点で活動されています。

きよみ館三階で開かれているわくわくルームにうかがった月曜日午前中は、清見近郊から十組の親子が訪れていました。自由な遊びやおしゃべりの後、コーディネーターさんの声かけで音楽にあわせてみんなで体操、エプロンシアター、そして、初めてのはさみの使い方を学びながらの工作に、目をキラキラさせて取り組んでいました。

子育て中はあまり外に出るほうではなかったのでさみしい思いをしていました。そして、こういう場所があることを知って、子どもを連れて遊びに来たのが子育て支援活動を始めたきっかけというコーディネーターさんは、二才と四才児のお母さん。子どもも遊ばせたいけれど、お母さん自身がほっとしたい、という子育て中の気持ちや保育士の経験も活かして、お母さんたちに声をかけたり、手作りのお楽しみ企画を取り入れたり、あっというまに二時間が過ぎます。

まだ寝返りをうてない赤ちゃんを連れてお母さんが、家にもついでに遊びに来られて友だちを作っていました。そういう場面に接して、自分もそうして友だちを作っておけばよかったと思われた気持ちも、日々の子育て支援活動に反映されています。

わくわくルームには、休日になるとお父さんも足を運ばれ、にぎわいます。利用者数は月延べ800人から1000人。天候にかかわらず気楽に出かけられて、家の延長のような感覚で遊べる広場は、幼い子のいる普通の生活のリズムを健やかに支えるところのようです。

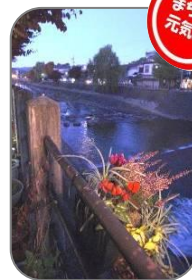


わくわくルームについての問合せ 清見支所地域振興課 68-2211

◆今回は子育てコーディネーターの柚原さん、清見支所の青豆さんにお話をうかがいました。

ギャラリー かじ橋こみちで花飾り

まちの元気印。情報で発信された花飾りの誘いを、寄せ植え華道協会飛騨支部のメンバーが実現。「かじ橋こみちを花で飾り魅力的な本町通りにできれば」のお店の人たちの思いと、「作品発表ではなく、素敵な寄せ植えのオブジェができれば」の会の思いが一致。かじ橋こみちの玉垣をミニクラメン等たくさんのお花で飾られています。霜がおりる時期まで。ぜひ、ご覧下さい。



まちの元気印

銭湯でまちづくり 「たかやま銭湯愛好会 あいらぶ湯」発足

銭湯巡り VOL.1 「ゆうとびあ稲荷湯」開催

高山市においても、ピーク時には28ヶ所余りが営業していた銭湯は減少し続け、現在、営業しているのは8ヶ所のみとなっています。そんな銭湯を大切にしたいと、市民有志によるグループが発足し、銭湯巡りが開催されます。第一回は、八軒町2のゆうとびあ稲荷湯です。

◇平成22年11月29日(月)午後6時30分

◇稲荷湯の中村さん(高山浴場組合長)からお話を聞いた後7時頃から入浴。参加費は入浴料の400円。

申込みは、住所・氏名・連絡先を記してFAX33-5282 まちづくり本舗気付迄

0577-33-5055
かんかこかん
いんぶめーしょん

こどもひろば・情報ひろば・まちづくりひろば
まちひとぶら座かんかこかん
開館時間 10時~5時(年末年始を除き無休)

今年も「冬のあったか縁日」で パワーアップ!!

12月11日(土)13時~16時、12日(日)10時~16時 市役所にて「あったか縁日」を開催します。みんな一緒に楽しもう!!